

## 第2回北名古屋市総合計画審議会生活部会 会議録

会 議 録		
会議名	第2回北名古屋市総合計画審議会生活部会会議	
日 時	平成29年6月10日（土） 午後2時10分から午後4時	
場 所	北名古屋市役所 西庁舎 3階 302会議室	
出席者 及び 欠席 者 (敬称 略)	出席委員	阿部 久邇夫                      伊藤 利明                      魚住 美沙 大口 有紀                      大野 利彦                      岡島 直樹 荻原 雄一                      古関 初江                      坪内 まゆみ 丹羽 幸雄                      宮西 昭夫                      山田 久倫 (12名)
	欠席委員	無し
	策定委員	統括参事                      総務部長                      財務部長 防災環境部長                      会計管理者                      議会事務局長 (6名)
	作業部会員	総務部次長兼総務課長                      財務部次長兼財政課長 財務部副参事兼収納課長                      防災環境部次長兼防災交通課長 防災環境部副参事兼環境課長 (5名)
	事務局	経営企画課職員2名
傍聴人	無し	
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 部会長あいさつ</li> <li>2 第2次北名古屋市総合計画基本計画分野別計画 素案に対する意見等について</li> <li>3 会議録の確認について</li> <li>4 生活部会の開催日程について</li> <li>5 その他</li> </ul>	

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

発言者	審議内容
事務局	<p>■開会</p> <p>審議会に引き続き、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>只今より、第2回北名古屋市総合計画審議会生活部会を始めさせていただきます。</p>
事務局	<p>1 あいさつ</p> <p>審議に入ります前に、丹羽部会長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。</p>
部会長	<p>改めまして皆さん、こんにちは。</p> <p>引き続きということで、大変申し訳ないわけですがけれども、また、今日はいろいろなご質問、ご意見等いただいたものへの回答があるわけですが、しっかりと審議していきたいと思っておりますので、よろしくご協力のほう、お願い申し上げます。以上です。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>これより議事の進行につきましては、丹羽部会長に議長を務めていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>なお、会議の運営について、1時間経過を目途に休憩を取っていただくよう、部会長にお願いしておりますので、皆様、ご協力お願いします。それでは、丹羽部会長お願いします。</p>
部会長	<p>今のところ、傍聴人等はいますか。</p>
事務局	<p>おりません。</p>
部会長	<p>はい、わかりました。それでは、これだけの委員の皆様と事務局とで、審議のほう進めてまいりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>今、1時間程度で休憩をとということでございました。前回は生活部会が最初に終わったそうでございます。休憩もなしで済んだわけでございますけれども、今日はそんなわけにはいかないと思っております。3時20分になりましたら、休憩に入りたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、事務局のほうから資料説明、確認をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>本日の配布資料を確認させていただきます。</p>

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

	<p>①次第          ②席次          ③「6月10日資料①」として綴ったもの          ④「6月10日資料②」として綴ったもの          ⑤会議録確認の依頼文と第1回審議会部会の会議録          ⑥第3回審議会部会の通知文          ⑦第2次北名古屋市総合計画基本計画分野別計画に関する意見等について【生活部会22ページ】というA4の1枚          ⑧資料A、B、Cが綴られた新聞記事。こちらは「6月10日資料①」の29ページ、意見番号46番でいただいたご意見の資料です。          以上、8点でございます。          資料が不足されている方がみえましたら、恐れ入りますが挙手をお願いします。          係が資料をお持ちしますので、よろしくをお願いします。</p>
部会長	<p>この部会の会議次第、席次図、そのあと、分厚い資料6月10日資料①②、そして前回の会議録、これは、訂正がある場合は6月16日まで事務局長へということでございます。          続きまして、審議会、第3回の生活部会の案内、そして基本計画分野別計画に関する意見等について、生活部会22ページと書かれた意見番号44というのが1枚入っております。そのあと資料のABCの3枚綴があるかと思いますが、よろしいでしょうか。          それでは、資料のほうは全員あるということでございます。</p>
部会長	<p><b>1 第2次北名古屋市総合計画基本計画分野別計画（素案）に対する意見等について</b>          それでは、次第に基づき、会議を進めさせていただきます。          「議題 第2次北名古屋市総合計画基本計画分野別計画 素案に対する意見等について」、事務局から説明を受けることにします。          よろしく願いいたします。</p>
事務局	<p>説明させていただきます。第1回部会において、各施策の「現状と課題」を中心に説明させていただきまして、意見がある場合に「意見書」を提出していただくようお願いしました。短い期間の中で、多数のご意見をありがとうございました。          「6月10日配布資料①」の表紙をめくって、ご覧ください。          生活部会で説明させていただく意見として、生活部会の分野が46件あります。          「6月10日配布資料②」の表紙をめくって、ご覧ください。議会か</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

らの意見は12件ありました。

もう一度、「6月10日資料①」をご覧ください。

表紙をめくっていただきまして、下段の「2意見の活用」をご覧ください。

委員の皆さんからいただいた意見について、限られた時間の中で、効率的に議論を深めていただくために、「①～⑥」の選択肢を設定し、「対応の方向性」を統一的に示した資料としております。

「対応の方向性」の「①～⑥」の概略を説明させていただきます。

「①と②」については、委員さんの意見を踏まえ、総合計画の文案を修正していこうと考えている意見となります。

「③」については、総合計画の文案に入れることは困難な意見です。

「④」については、事業の実施段階で検討していこうと考えている意見です。

「⑤」については、意見の趣旨が既に総合計画の中に盛り込まれていると考えている意見です。

「⑥」は、その他の意見として今後調整が必要な意見等でございます。

本日は、施策の順に、議論を深めたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

なお、資料の説明については、本来ですと、意見を全て読み上げ、回答も担当部から行うべきですが、大変たくさんの意見をいただいておりますので、施策の単位で委員の皆様からいただいた「意見」と市の「対応の方向性」の概略を私が説明します。

その後、委員の皆様から、ご意見や質問をお伺いする方法で進め、詳細な説明や更なる回答が必要な場合に、担当部より回答させていただきます。

本日の協議をもとに、次回、7月6日の第3回の部会で文案をお示しいたします。

誠に勝手なお願いとなりますが、10施策ありますので、1つの施策の議論時間を概ね15分程度を目安に進めさせていただきたいと部会長にお願いしておりますので、皆様、円滑な会議運営にご協力をお願いします。

では、早速説明させていただきます。

6月10日配布資料①をご覧ください。19ページでございます。こちら3-1、防災・消防につきましては、10件のご意見がありました。

意見番号1番は、自主防災会と自治会では、「自治会の任期が1年とか2年ということで役員さんの任期が短いので、自主防災会は独立した組織にしたほうがいい」というご意見をいただきました。

これにつきましては、事業実施の中で検討するように考えております。

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

意見番号2番としまして、こちらは質問でございますが、中江川の排水場の設置に伴いまして、水位が上がった時の住民への対応ということで、その他としてその対応について回答しております。

意見番号3番のHUG避難所運営ゲームですが、こちらは市民全員に体験してほしいというご意見でございます。こちらにつきましては、防災訓練等で広めていくなど事業実施の中で検討するように考えております。

意見番号4番の避難先となる学校内に個人的にスペースがほしいという意見でございますが、これについては学校内の避難所等のスペースというのは北名古屋市の場合、すべての方に確保するというのは大変難しいと考えておりますので、「計画に盛り込むことは困難」となっております。

意見番号5番の「主な取組に消防団の関係の記述がない」ということでございますが、こちらにつきましては、計画の文案変更を考えておまして、主な取組の部分に「消防団員の確保と活動の充実」という記述を追加するように考えております。

意見番号6番は、37ページにあります、現状と課題の部分でございますが、「促進します」という書き方で、もう少し踏み込んだ記述が必要ではないかということですが、主な取組に「住宅の耐震化、シェルター設置のための無料相談会、個別訪問などの実施」という記述をするようにしております。

20ページ、意見番号7番、「地域防災力の強化」の部分で、自主防災会と自治会の連携強化、防災リーダーの自治会との連携、大規模災害時の避難に関しての案内についてご意見をいただきました。

これについては、事業実施の中で検討するような対応の方向で考えております。

意見番号8番、防災力の強化の部分で、防災訓練等は、家族ぐるみの参加を考えたほうがいいのではないかとご意見をいただきまして、こちらは事業実施の中で検討を進めてまいります。

意見番号9番、「防災情報の市民への伝達の項目が必要ではないか」ということですが、こちらは「地域自主防災力の強化」の部分で、災害情報伝達体制の充実という項目がございますので、既に計画に盛り込まれていると考えております。

意見番号10番としまして、「ドーム周辺の総合拠点とは何か」というご質問をいただきました。こちらは、「健康ドームと災害医療拠点の済衆館病院とが一体となり形成されるものと位置づけています」という質問に対しての回答になっております。

続きまして、議会からの意見は2件ございました。資料②、10ページをお願いいたします。3-1防災・消防につきましては議会から2点意見がございまして、48番です。「子どもや家庭を対象とした、防災教育の充実を主要施策に加えてほしい」ということですが、こちらにありますよう

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

<p>部会長</p>	<p>に、子どもについては小中学校において教科の中でやっており、また避難訓練等を行っておりますので、「事業実施の中で検討する」と考えております。</p> <p>49番、「公園を避難所として使えるように、災害時の備えがある公園が地域ごとに必要だ」というご意見がございますが、今後、公園につきまして、かまどですとかトイレの設置など防災に適した施設を考えておりますので、「事業実施の中で検討する」と回答しております。</p> <p>以上、「3-1 防災・消防」につきましては、意見への対応は以上となっております。</p> <p>では、防災・消防に関わるご意見等々で、全部で議会を含めて12件あって、その概略の説明を受けたということですけど。</p> <p>何かこのところでご意見等あれば、お伺いさせていただきます。委員の皆様方、よろしいですか。</p>
<p>副部会長</p>	<p>1番の自主防災会と防災リーダー研修についてですけれども、これは市に毎年やっていただいています。どうしても自治会を通して集めているわけですが、なかなかその宣伝が皆さんに伝わっていないのです。ですから、もう少しそういう人を集める方法を考えてもいいのではないかと思います。</p> <p>それから、例えば防災の講習、研修などについても、どうしても自治会単位で募集するのですが、なかなか一般の方は集まりが悪いということで、例えば災害になったときに、今の避難先の小学校であれば、地下にきれいな水が通っているとか、飲水があるとか、そういうことをあまり市民の方は知らないですよね。ですから、そういう面で、一般の市民の方にももう少しそういう宣伝をしたほうがいいかなという気はしますけれども、どうでしょうか。</p>
<p>防災環境部次長</p>	<p>防災の講習会につきましては、もちろん自治会の皆さんの参加もごさいますが、一般の公募も、ホームページですとか広報のほうで、行っております。年に2~3名の方が一般の方で応募がございます。</p> <p>それから、今、副部会長がおっしゃられた、講習というのは、防災の訓練ですか。</p>
<p>副部会長</p>	<p>地域ごとの訓練です。</p> <p>例えば、防災訓練であれば東小学校でやるのですけれども、一応、自治会を通して、町内会を通して集まってほしいという感じでやるのですけれども一般の方が非常に少ないものですから、もう少し多く集める方法をなんとか考えたいという気がするのですけどね。</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

防災環境部 次長	それにつきましては、また各自主防災会の皆様と市のほうでお話し合いをしながら、対応したいと考えております。
副部会長	わかりました、ありがとうございました。
防災環境部 次長	よろしく申し上げます。
部会長	そのほか、よろしいでしょうか。はい、どうぞ。
A 委員	今、お話があったように、自分のいる自治会と自主防災会の実態は全く一緒になっているのですね。自主防災会を単独でつくっている自治会はどのぐらいありますか。
部会長	自治会と自主防災会が別々になっているところですか。
A 委員	自主防災会が、自治会の中に入ってしまったので。
防災環境部 次長	それにつきましては実際のところ、自主防災会の実態と申しますのは、市は特に把握はしておりませんので、意見番号1番の対応の方向性の中に少し書かせていただきましたが、市内32の自治会には各自主防災会がありますが、お互いに自分のところがどんなレベルなのか、ほかの自主防災会はどんな活動をしていらっしゃるのか、ご存知ないと思います。 これを市のほうで、まずアンケート調査を実施しまして、各自主防災会に全部の自主防災会がどんな実態かをお知らせをさせていただくというような取組をしたいなと思っております。その中で、少しでも各自主防災会の実態を把握できるのではないかと考えております。
A 委員	自治会がないと、そういう組織の原型もないので、独立した自主防災組織を作るという方向でやるなら、そのような施策を書いたほうがいいですし、それが無理ならば連携ということよりも、むしろ組織化自体を目標とする記載にしたほうが、実際的かというふうに思います。 組織が2つあって、原型とか根本を言うよりも、自主防災会は自治会の中にあるものとしてやれば、原型ということはそのそんなに大きな問題ではなくなるわけで、もっと別なことを考えるか。どうしてもやはり防災と違うから自主防災団体をつくりたいというなら、そのような記載をしたほうがいいかなというふうに思います。

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

防災環境部 次長	これも回答させていただいておりますが、自主防災会は自治会組織の中の一つとして認識しておりますので、連携は当然にできておると考えておりますのでお願いします。
A 委員	だから、連携なんてあまり言わなくてもいいわけだね。
防災環境部 次長	それはそうですね。いや、連携するべきだというご指摘が中に入ったと思いますので、連携はされておるはずですよというふうにご回答させていただきました。
防災環境部 次長	7番の38ページのところで、「連携を強化させてはどうか」というご意見がございましたので、自治会の中の自主防災会であるという位置づけを認識するなかで、連携はされているというふうにご回答をさせていただいております。
部会長	自治会に対してのアンケートが出ているのですか。
防災環境部 次長	今、考えていますのは、まずお互いの自主防災会のレベルをご存知ないかと思っておりますので、他の自治会の現状を知って、自分のところをなんとかしようという気持ちを持っていただくためにも、自主防災会の実態を調査させていただいて、それをフィードバックする形でお気づきの機会を与え、考えていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
部会長	<p>はい。だけど、ここにも書いてあるように、自治会のほうは組織がどんどん変わるものですから、最終的なそういう防災リーダーというのが、そういった方を各自治会なり、町内会でしっかりと養成できるようなところまで、もっていけると、本当はいいなという思いはあります。</p> <p>現実、南海トラフで地震があったりしたときに、じゃあ誰がリーダーとなって避難所でやれるかという、やはりそういう方だろうと思っておりますので、ここまで持っていけるような何か、方策というのか、そういうことも考えていただけるとありがたいなと思いました。</p>
統括参事	<p>やはりずっとこれは従来から、市になる前の町の時代から「自主防災会＝自治会」という形でやってきたのですが、やはり独自性がそれぞれ薄れています。</p> <p>といいますのは、1年交代とかせいぜい2年交代ぐらいで自治会長さんが自主防災会長さんということになっていくものですから、そのあたり非常に懸念しています。いざ、組織を別個でつくろうということにな</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

	<p>ると、それぞれの自治会の労力もいる。この辺りが矛盾を生じている状況です。</p> <p>今、言いましたように、もう少しその辺りを把握しまして、実際にはどういう形がいいのか検討していきます。</p> <p>また、他のご意見の中でもコミュニティ自体の再編についてありましたので、そういうことも含めながら、やはり私どものほう、本当は自主防災会の単独の自主防災会が望ましいということは思っているのですが、いろいろなことも考えながら、もう少しお時間をいただきながら検討していきたいと思っております。</p> <p>実際には総合計画の中では、そういう具体的なものではないので、実施計画の中でやはり考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
部会長	<p>ありがとうございました。では、3-1のほうはこれで終わりたいと思いますけど、よろしいでしょうか。</p> <p>はい。では、次、交通安全の説明をよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、交通安全、3-2については5件のご意見をいただいております。資料①をご覧ください。11番では、交通安全の「加害者と被害者」となっているが、「加害者と被害者を同列的に見ている、加害者はいらぬのではないか」というご意見ですけれども、素案では加害者と被害者両方の面から交通安全について記載しておりますので、そういった文言の変更は行わないような方向で考えております。</p> <p>意見番号12番、「鉄道立体交差により、車の往来が増えるとなると、必然的に交通事故が増えるのではないか。」というご意見でございます。</p> <p>これについては、事故を誘発する原因としまして、鉄道立体交差化だけではなく、道路の整備や住宅の建設など、市街化形成の過程で発生しますので、この部分については、施策の一般的な交通指導の普及と、交通安全施策の整備による施策を記載しておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>意見番号13番です。主な取組の部分でございますが、「危険な歩道の整備、自転車道をつくる」といったものを主な取組のところに記載してはどうか」というご意見です。</p> <p>これは50ページの「1安全で快適な道路環境の整備」にありますように、反射鏡とかカラー舗装などの施策を記載しております。それから自転車道につきましては、道路の拡幅を伴いますので、駅周辺の開発等の大規模な整備に合わせて検討していくような方向で考えております。</p> <p>意見番号14番は、「交通事故の心配が少ないと思う」という目標値でございます。市民割合でございますが、こちらの目標値が25%、30%と</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

	<p>なっております、「安全安心で暮らせるまちというのを目標にしているにしては低いのではないか」というご意見でございます。</p> <p>こちらの指標の立て方でございますが、北名古屋市につきましては主要道路が縦横に流れており、その特性から満足度の低さというのが現れているというように考えております。</p> <p>交通安全の施策の進捗というのは上向きを期待してはいますが、10年については大きな上昇はないという形で、目標値を設定しました。</p> <p>しかし、ご意見がありますように、満足度を高めるためにソフト・ハードの両面から取組を考えていきまして、目標値の整合につきましては再度、検討させていただくというふうに回答してございます。</p> <p>意見番号15番、「交通危険箇所数を取組指標に載せてはどうか」というご意見でございます。これに対して西枇杷島警察署に照会をかけたところ、資料があまりないということと、北名古屋市においては市内の全域のいろいろなところで交通事故が発生していると考えられますので、こういった危険箇所という形で、計画に盛り込むということは困難と考えております。</p> <p>3-2の交通安全についてのご意見と回答は、以上でございます。</p>
部会長	<p>交通安全に関わっての説明がございました。今、⑥その他に類するご回答であったわけですが、何かよろしいでしょうか。</p>
B委員	<p>14番ですけど、再度検討されると、今、おっしゃられましたけど、上がった数字が載ってくると捉えていいのですか。</p>
事務局	<p>本当にここの部分だけではなくて、安全に暮らせるまちという道道路の整備とか、そういった他の部会にも横断するような部分がございますので、ちょっとその辺の整合をつけさせていただいて、なるべく折り合うようにするという方向で、今のところ考えています。</p> <p>また、その辺は調整させていただいて説明させていただきますので、お願いいたします。</p>
B委員	<p>やはりここは命に関わる場所なので、高い数字を期待するというのと、42ページの指標のところですけど。最初の現状や活動状況のところ、「交通安全に気をつけている市民の割合」という項目ですけど、これは誰でもイエスと答えるような質問内容で、ちょっと心情的な質問の気がします。それですごく高い、94.1%あって、もしこれが本当にそうであれば、その下の「危ないと思っている」数字がこんなにといいことがすごく乖離しているの、ちょっとこの上の質問項目をどう捉えているのかということ、これが非常に高いということをどういうふうに捉えてみえるのかということ、お聞きしたいです。</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

<p>防災環境部 次長</p>	<p>資料3は、「交通ルールを守り、交通安全に気をつけている市民の割合」が非常に高いということですが、こちらのほうは、一般的に交通ルールを守るのが普通でありまして、これは100%でもおかしくないと思います。</p> <p>先ほどの「交通事故の心配が少ない」と思っている市民の割合といたしますのは、先ほども申し上げましたように北名古屋市は幹線道路が縦横に走っているというなかで、例えば歩道と車道が、きちんと分離されていても、車道を猛スピードで車が走るような場合もございますので、なかなか安全なところだという認識はいただけないのかなということがございまして、このような書き方をさせていただいています。</p> <p>それで市民の皆様が気をつけていただけるというパーセンテージとちょっとずれがあるのかなと思います。</p>
<p>B委員</p>	<p>普通に歩いていたり、自転車に乗っていたりするとき、例えば車が自分の近所の生活道路に入ってきて怖い、ヒヤッとしたとか、そういうことも含めているのかなと思ったものですから。</p>
<p>防災環境部 次長</p>	<p>本当にそれぞれでございます。市街地が形成されてまいりますと、交差点でも左右が全く見えないところがある。</p> <p>例えば、なかにはカーブミラーの設置が困難な場所もございまして、そういった場所も市街地にはあるのですね。住宅がどんどん建設されていますので、こういったものがこれから建設されていきますと、見通しの悪い交差点もどんどん増えてくる可能性もございまして、今、おっしゃられる懸念もあるかと思えます。</p>
<p>B委員</p>	<p>ついでにいいですか。4月の広報か何かロードサポーター募集というのがありまして、私も日頃からここ危ないなというところを施設管理課に言ったのです。左右確認するのに、看板があるために右が見えないものだから、ちょっと前に出て確認しないといけないのだけど、前に出ると、その歩道のところを中学生とか高校生が自転車で走っていると。もう本当に確認しようと思って出ること自体が危なくて、それでその看板をなんとかちょっと下げていただくと、その危険箇所が減るかなあと考えて言ったのですが、やはりこれは私有地なので、ちょっとそういうのは難しいという話だったです。</p> <p>でも、前回の10年間の計画のところ、企業にお願いをして交通安全を図るととれるところがあったものですから、「無理を承知でお願いしてくれればいいのに」とちょっと思ったのですが、その「看板を少し下げていただけませんか」と言うのを、やはり個人でそこのお店には</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

	<p>なかなか行けないので、市役所の方も無理かもしれないけども、駄目もとで1回ぐらい頼んでくれてもいいかなという、そういうことを思ったことがあります。</p>
防災環境部長	<p>確認ですけれども、ロードサポーターの方にはお願いはされたということですか。</p>
B委員	<p>そうではなくて、ちょっと危ないなと思っているところがあったものだから、それも込みで自分もそういうものに参加して、危険箇所があったら市役所のほうにお伝えしていくという、そういうロードサポーターになってもいいと思いながら、自分の危険だと思っている箇所のことをお伝えしたということですけど。</p>
防災環境部長	<p>それを言ったときに、市役所の対応としては私有地だからできませんよというご回答があったということですね。</p>
B委員	<p>はい。確かにそうかもしれないですけど。</p>
防災環境部長	<p>おそらくここにいない施設管理課が所管だと思うのですがけれども、当然、おっしゃるとおりで、言って駄目もとということも当然あり得る。これも市役所の仕事だと私どもも思っておりますので、今の言葉を受け止めさせていただいて、施設管理課で対処していきたいと思っております。</p>
部会長	<p>なかなか難しいですよ。一旦停止と一緒に、それで何回も止まらないと安全は確認できないことですので、そういったことは意識の高揚というのか、そういったことが大事になってくると思いますけど。行政のほうは、またそういった住民からの申し出もいろいろあって大変かと思えますけど、丁寧な対応をしていただければと思いますけども、そういった面で気を付けていただければありがたいです。</p> <p>交通安全に関して、よろしいでしょうか。</p>
C委員	<p>道路のことは、非常にお金がかかって大変だと思います。と同時に道路の整備の優先順位がたぶんあると思うのですが。この西庁舎の北側の道路って近いうちにどうにかなるとか計画は、今のところないでしょうか。</p>
防災環境部長	<p>私、去年まで建設部にいましたものですから、計画のことをちょっとお話させていただきます。この道は、昔は県道で、今は市道として払</p>

## 第2回北名古屋市長計画審議生活部会 会議録

C 委員	<p>い下げを受けました。基本的には整備の計画はございません。</p> <p>ただ、今、建設部のほうで計画しております、鉄道立体、こういったものに併せて、駅周辺のまちづくりを行う必要があるという話の中で、ここの道路の位置づけとしては将来的にはそのときに整備していきたいという構想はあるというふうにご理解いただければありがたいです。</p>
部会長	<p>わかりました。13番のところに、危険な歩道の整備とか、自転車道をつくるとかいろいろあるものですから、どうかと思ってお聞きしただけです。はい、わかりました。</p>
事務局	<p>では、交通安全の5項目でしたけど、よろしいですね。</p> <p>はい。続いて、防犯のほうにいきたいと思いますけども、よろしくお願ひします。</p> <p>3-3の防犯については、4件ほどご意見をいただきました。意見番号16番、「地域のパトロールの頻度が少ないので、ウォーキングをしている方の活用等を考えたらどうか」というご意見をいただきました。</p> <p>こちらにつきましては、防犯ボランティアの団体の育成という対応の方向で事業を進める中で検討させていただきます。</p> <p>意見番号17番、「防犯情報の市民への伝達という項目が必要ではないか」ということですが、こちらにつきましては「①地域防犯力の向上」の中で情報伝達という形で記載しておりますので、すでに計画に盛り込まれているものと考えております。</p> <p>意見番号18番、44ページの「犯罪の心配がないと思っている市民の方」、こちらも先ほどの交通と同じようなご意見でございます。「安全安心に暮らせるまちをめざすのであれば25パーセントから30パーセントの目標値というのは低いのではないか」というご意見です。</p> <p>これについては、資料にありますように増減の予測をして考えさせていただきました。しかし、市民意識調査の結果のなかでは、「犯罪を心配することを解消することは優先して取り組む施策」という分析がありますので、これも先ほどの部分と併せて、目標値をまた内部で再考させていただきたいと考えております。</p> <p>それから、意見番号19番、市民意識調査の一覧でございます。犯罪発生件数について、950件、940件となっているが、こちらの理由が知りたいということと、これにつきましては「被害届が出された件数であるか」というご質問でございました。</p> <p>こちらの目標値につきましては、過去の犯罪の増減の要因を、将来予測から算出した値を、期待値から下方修正した形で設定したものでございます。</p>

## 第2回北名古屋市長計画審議生活部会 会議録

	<p>すいません、次の意見番号19番は、印刷の下部分が切れておりますので、今日配布しましたA4の配布資料をご覧ください。数値については被害届の件数でございます、同じく目標値を再度検討するというような対応の方向で、今考えております。</p> <p>もう一つ、市議会議員からの意見です。資料②をご覧ください。</p> <p>10ページの50番になります。こちらは「防犯灯と防犯カメラの設置台数を増やしていただきたい」というご意見でございますが、3-3の防犯の主要施策②に防犯灯の設置、防犯カメラの設置支援を記載しておりますので、すでに計画に盛り込まれているという対応の方向で考えております。</p> <p>3-3防犯の説明は以上でございます。</p>
部会長	<p>意見番号19番のほうが少し切れているということで、対応の方向性は本日配布の資料を読んでいただいていたということでした。</p> <p>何かご質問等、ありますでしょうか？</p>
副部会長	<p>警察が3年ほど前と比べると、犯罪が減ってきているということで、丹羽部会長と私は、二人とも防犯協会で活動しているわけですけど。</p> <p>この中で、犯罪の発生件数を少なくするというのがあるのですけれども、実際には凶悪犯と自転車盗などがあります。特に北名古屋市の場合は自転車盗が非常に多いです。そういう面があって、最近は本当にたとえば侵入盗もちょっとありますけれども、犯罪の大きいのを減らすということが必要であって、ですから実際には、その目標値を何件ということ是非常に難しいです。そういう面だけ皆さん、ちょっとまた覚えてほしいのです。</p> <p>たとえば自転車盗が1件あっても1件になりますのでね。そういう面が入っていると思います。</p>
部会長	<p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは防犯のほうですけども、これは簡単に済んでしまいましたけれども、また何かこのあとあれば事務局のほうにお願いします。</p> <p>それでは、ごみ処理の問題です。ごみ処理・資源循環について、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>3-4ごみ処理・資源循環については、5件の意見をいただいております。20番、集積場についてですが、「高齢者など、自宅前まで取りに来てもらえるというような考えがありますか。」というご質問です。</p> <p>こちらですが、道路の幅員が異なっておりまして、幅員が狭くて支障になる場合につきましては、自宅前の収集を今でも実施しておりますので、</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

	<p>事業実施の中で検討させていただくと回答しております。</p> <p>21番、「回収ボックスって何ですか。」というご質問でございますが、これだけでは、確かにわかりにくい表記でございます。これは、市役所などがございます「小型家電回収ボックス」に訂正して、計画の記載を変えさせていただきます。</p> <p>22番、ごみを減らす工夫ということで、「外部講師のセミナー等を通じて啓発してはどうか」というご意見でございます。</p> <p>こちらについては、今現在、環境団体の生活環境美化スタッフが年に4回ほど、ごみ減量についてのセミナーの取組を行っておりますので、事業実施の中で検討するとしております。</p> <p>23番、「資源ごみというのは自治会の収入となりますので、自治会の協力を要請してはどうか」というご意見でございます。こちらについても、同じく資源回収量に応じて、自治会の還元金として補助をしておりますので、「事業実施の中で検討する」と回答しています。</p> <p>24番、「事業系の廃棄物や産業廃棄物の減量化、適正処理の主な施策を」という意見をいただいておりますが、こちらは現在でも事業所による廃棄物の分別は徹底できていると考えておりますので、事業実施のなかで検討すると回答しております。</p> <p>それから、市議会議員からは、ごみ処理につきましては2件いただいております。11ページをご覧ください。51番、こちらにありますように、「レジ袋をごみ袋として使えるような取組や、太陽光発電を公共施設につけたらどうか」というご意見で、総合計画では言及しておりませんが、これら事業につきましても、事業実施の中で検討していくように考えております。</p> <p>意見番号52番、ごみ処理の問題でございますが、集積場というのが公園などいろいろな場所でやっておりますので、そういったソフト面での安心、安全を集積場について確保してほしいというご意見でございます。</p> <p>こちらのほうも同じく、様々な環境に応じて自治会のほうにお願いをしておりますので、「事業実施のなかで検討する」という対応で回答しております。</p> <p>3-4ごみ処理・資源循環につきましては、回答としては以上でございます。</p>
部会長	<p>ごみ処理・環境資源について、何かご質問等、ありませんでしょうか。よろしいですか。</p>
D委員	<p>市のごみの収集ですが、家の前にごみを置いている人もいるし、それから集積場所、その地域で違いますけども、集積場所まで持っていくときに非常に距離があるとか、重いなどちょっとこれからしんどくなると</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

<p>部会長</p>	<p>ということがあるのですけど。          家の前のごみと、集積場所まで持っていかなければならないなど、どうしてそういうことになっているのかなと。</p> <p>それは今、ちょうど対応の方向性のところを見ると、道路幅員とかそういうこととの関わりということですよ。</p>
<p>防災環境部 副参事</p>	<p>シートの意見番号20番の対応の方向性の中でお答えさせていただいております。道路幅員が異なるために、どうしても狭い道路の場合は、自宅前で収集するようにしておりますが、基本、道路幅員が確保されている場合はごみの集積をお願いして、できる限り集積する側の効率性も考慮させていただきながら、進めていることでございます。</p> <p>しかしながら、これはあくまでも地域との相談といえますか、協議の余地がありますので、その都度、ご相談できればと思います。すべてのお宅の前からごみをピックアップしていくというのは、これは不可能ですけれども、可能な限り調整してまいりたいと思っております。</p>
<p>部会長</p>	<p>よろしいですか。</p>
<p>D委員</p>	<p>いや、よろしくない。その幅員が地理的にできないから、できないじゃないかと、できるようにするのが市民サービスというように考えるのですが。</p>
<p>副部会長</p>	<p>それは自宅の前に置きたいということですか。</p>
<p>D委員</p>	<p>はい。年配になってくると、そう考えるのは普通じゃないですか。</p>
<p>副部会長</p>	<p>私が自治会長をやっている時は、新しく建売住宅ができたときには、その近所の人から「集積場にできる場所があるから、そこで集積できるように市に話をしてくれ」という話を聞いたことがあります。確かに自宅の前は便利なことは便利ですが、カラスとかそういうものはいっぱい来るし、集積場であれば一応、網を張ってそれを防ぐこともできるし、効率もいい。</p> <p>例えば、今、言われたように、年取ってきて、どうしてもそこまで運べないということであれば、相談されればよいと思うのです。自宅の前に置くようなスペースがあればね。それを全部に広げるということは難しいと思っております。</p>
<p>D委員</p>	<p>いや、サービスはすべて公平であることがサービスということであっ</p>

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

	<p>て、一人に偏るというのは、私はサービスではないと思います。家は4～5mあれば建てられるということですから、そういうことから考えると、かえって広いところはずっと便利を享受できる。狭いところは我慢しなければならないということは、私はサービスでないと思います。それは徹底して直してもらわなければいけない。大きな車、小さな車があるわけだから。</p>
E 委員	<p>よろしいですか。ごみの出し方なのですけれど、本当に北名古屋市はいろんな形があって、自宅前にあったり、まとめてであったり、そういうのがあるのは私も車で走って見たりするのですが。</p> <p>ここに書いてある、道幅が狭くて交通の支障になるときに限定して自宅前で収集するという事です。これは見方を変えると、道幅が狭いところは、逆にどこかまとめてやっていただけると、通行の妨げにはならないですよね。ということでも、いろんな考え方が市民の中にもある。</p> <p>だから、統一したサービスというのが、はたして皆さんに受け入れられるのかなという気はしますね。</p> <p>それから、ごみ出しで、高齢者にとっては重いよとか、そういうのが出てくるかもしれない。そのときには、やはり考えた際にそうしてほしいなと思います。できれば、本当にパッカー車、結構大きいですよ。ですから、そこへ止まっても片側は車が走れるというような、そういう状況をつくるには、やはりまとめて置くというのはそんなに悪くないのかなという気はしますね。生活をしていて。</p>
F 委員	<p>いいですか。確かシルバー人材センターか何かのサービスで、ごみ出しを手伝ってくれるというのがあったと思うので、もしごみ出しが大変だったら、その近所の人とか何かに相談して、その場所まで持って行くのを手伝ってもらうとか、そういうこともあるのかなと思いました。</p>
防災環境部 副参事	<p>さまざまなご意見を頂戴しております。まさに生活に密着した、ごみの収集の問題でございます。いろんな考え方があると思います。やはりそれぞれのご家庭の事情であるとか、年齢であるとか、性別であるとか、いろんな面でそれぞれが求めるものは異なってくるとは思います。</p> <p>ここの表記の仕方が道路幅員だけにちょっと焦点を絞った記述の仕方をしておりますけれども、ごみを狭い道路に置くことによって生活環境が著しく低下してしまう。それをやはり収集する方法の中で、集積所というものがきちっと確保できているところについては、やはり安全に快適に、それぞれの市民生活が確保できるという観点から、集積していただいている状況でございます。</p> <p>何度も申し上げますが、やはり個々のご家庭のご事情で、そういった</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

	<p>自宅前での収集でないとな都合があるという場合については、すべてお断りしておるといことではございません。都度、ご相談させていただいて、現場も確認をしたうえで、必要があれば随時、変更しておりますので、ご理解賜りたいと思います。</p>
部会長	<p>よろしいですか。僕の時は、ごみ集積所とか道路のパッカー車の通路の変更とか、いろんなことは自治会を通じてやりとりをした覚えがありますけれども、個人でもご相談を受けるということですので、何かあれば、また市役所でそれぞれ対応してくれると思いますので、お願いをいたします。</p>
D 委員	<p>自治会長に言えばいいんですか。</p>
部会長	<p>そうです。僕が自治会長のときも役所とそれぞれ、そういったことをやりとりされたと思います。</p>
防災環境部 副参事	<p>基本、例えば先ほどもお話がありました、分譲住宅の戸数が一度に増えるというような場合などは、当然、自治会長のほうから今もご要望等を頂戴しております。</p> <p>中には、個々のご事情等で直接ご連絡が入ることもありますので、これをわざわざ自治会長さんのほうに差し戻すということは、いってみればサービスの低下と我々は考えて、相談に応じております。</p>
部会長	<p>ということですので、個人でも対応してくれますので。</p>
D 委員	<p>ありがとうございます。</p>
部会長	<p>では、あと環境保全までやるとこの分野は終わりますので、頑張ってください。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、3-5環境保全につきましては3件、ご意見いただいております。</p> <p>22ページ、25番でございます。「ごみゼロ運動はマンネリ化しているのではないか」というご意見でございます。これにつきましては、毎年5月開催のごみゼロ運動は市民約1万人が参加しております。事業拡大を検討しておりますので「事業実施の中で検討する」という回答をしております。</p> <p>続きまして23ページ、意見番号26番、「花の苗の配布や緑のカーテンより大きな施策をできないか」ということでございますが、こちらの花の苗の配布につきましても、毎年、年2回、1,200株の配布をしまして環</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

<p>部会長</p>	<p>境美化の推進を図っております。これも、さらなる参加者の増加に取り組んでいきますので、事業実施の中で検討するという対応の方向で回答しております。</p> <p>意見番号27番、取組指標について「緑のカーテンより、低公害車や低燃費車の数を指標にしてはどうか」というご意見でございますが、低公害車につきましては市の独自のものとして施策は行っておりませんので、指標として数が把握できないことになっております。</p> <p>緑のカーテン事業につきましても、温室効果ガス等の環境に対する意識を図るという意味で、今後も継続していく形で考えておりますので、「計画に盛り込むことは困難です」という回答をしております。</p> <p>3-5環境保全については、以上でございます。</p>
<p>A 委員</p>	<p>環境保全の3点についてご説明がございましたが、何かこれについて、またそれ以外のことで結構ですけれども、ご意見等あれば、どうぞ。</p> <p>環境の施策は、お金がかかることもあるので難しいと思うけど、ちょっとあまりにも施策が小粒かなと思って意見を出しました。</p> <p>取組指標が他にもいろいろあるのですけれども、もう少しいい取組の指標はないかということで、全体でちょっとお話をせよらうんですけど。</p> <p>例えば、保育園のほうで民営化の指標が挙がっていますが、保育園の民営化で質がどうかという問題ではないと思うので、民営化が保育の中でいいのかどうかというのがありますし。それからレジャー農園なんかも、レジャー農園が増えるということは、営農者は減ってしまうので、本当にそういう指標がいい指標なのかどうかというのは、ちょっとこの場で発展しすぎかもしれないけど、もうちょっといい指標がないのか、考えていただいたほうがいいのではないかと思います。その1つとして、緑のカーテンもそうです。</p>
<p>部会長</p>	<p>花の苗とか、緑のカーテンというよりも、大きな施策はないか、考えられないかということですけど、まあ考えずにこのままでいくということですね。</p>
<p>防災環境部長</p>	<p>正直、これをつくっている環境課とも相談させていただいて、この取組指標にしました。この環境保全の中で、最初は太陽光発電設置世帯数、これ1個だけでした。これでは足りないということで、緑のカーテンコンテスト参加者というものを設定しました。正直、この中で、いろいろ考えたんですけども。</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

A 委員	<p>施策としてやらなくても、例えば北名古屋市は省エネ車が多いのだ、減らしていくのだという運動だけでも構わないわけですね。だから、どのぐらい入っているのかどうか、陸運局とかで台数とかわからないかな。別に補助金の施策をやれというわけではない。</p>
防災環境部長	<p>今のご質問は、たぶん市がこういった取組をして、こういった指標が挙がってくるというものであれば、好ましい話なのですが、今のエコカーに対して何も施策をとってない状況の中で、こういう指標に入れるのはちょっといかがなものかなというように僕自身は思ったものですから。</p>
A 委員	<p>いや、そういう車を入れてもらうという運動のためにも、いいわけですね。意味があるし。</p>
防災環境部長	<p>主要施策があつて、取組があつて、その取組の指標という話でいくと、取組は市としては何もやっていない状況のなかで取組指標というのは、これはちょっと違うのではないのかなと。</p>
A 委員	<p>地球環境とかそういうことを言えば、こういうものは一つの指標になっていくわけで、全体から見なければいけないですね。</p>
部会長	<p>国の施策としては、もちろん、そういうのはありますが。</p>
A 委員	<p>そういうのを紹介していくとか。</p>
G 委員	<p>指標の目標値としては小さいかもしれないですが、今の低公害車の話ではないけど、市の公用車の例えばエコカーへの転換の割合を、今、このぐらいの割合があつて、年度ごとにこういう目標値が掲げられるというような形で、ここに指標として載せることはできませんか。</p>
防災環境部長	<p>市の公用車関係ですか。</p>
G 委員	<p>まあ財政に関わることではありますが、今の低公害車という話を指標に載せようとする、そういう方法も一つあるかなという意見です。載せてくれというわけではないです。そういう方法もありますということです。</p>
F 委員	<p>指標を他に何か案をとということで、私が思いついたのは、市民の役割</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

	<p>のところに「自動車の代わりに公共交通や自転車を利用するよう心がける」と載っているのですが、そういうアンケートみたいなので、「車よりも公共交通や自転車を利用している」といった項目をつくれれば、始めは意識が低かったけど、PR活動などをしてそういう人が増えたというようなパーセントで出せるような指標がつけられるのではないかなと思います。</p>
<p>部会長</p>	<p>環境保全、大きいといえば大きいですよ。本当に国が主導でやらないと、これはどうにもならないところがあると思いますが、今のお話で、市民として環境保全にかかわる何かアンケートでも一つとっていただいて、市民としての環境意識というのか、そういうのがあるということが少し述べられるといいと思いますね。</p>
<p>防災環境部長</p>	<p>今日は、お三方のご意見をいただきましたので、この指標については、いま一度、我々のほうで再検討したいと思います。</p>
<p>部会長</p>	<p>では、よろしくお願いいたします。</p> <p>1時間ちょっと過ぎてしまいました。これで締めたいと思いますのでよろしいでしょうか。</p> <p>では、一旦休憩にしたいと思います。3時25分に再開をしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では、10分休憩ということでお願いします。</p>
<p></p>	<p>(休憩)</p>
<p>部会長</p>	<p>それでは、定刻までにお集まりいただきまして、ありがとうございました。</p> <p>では、最後の協働・行財政分野のところ、そちらのほうに入ってまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、6-1コミュニティ・市民活動では10件のご意見をいただいております。</p> <p>23ページ、意見番号28番でございます。市民意識の低下。「高度経済成長期が終わり、中流層が少なくなったので、市民意識が低下しているのではないか」ということと、あと「自治会の規模に差がありすぎるということを、現状と課題に入れてはどうか」ということとでございます。</p> <p>こちらでございますが、対応としましては、趣旨を反映しまして、「豊かさや価値観、家族形態の変化により、地域コミュニティへの関心が下がり、地域住民のつながりが希薄化しているため、地域コミュニティへの参加率</p>

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

が減少しています」という文案で追記を考えております。

それから、自治会の規模の格差につきましては、追記はしませんけれども、格差については自治会再編という対策ではなく、地域の経緯など含めて取り組む必要があると考えておるため、地域コミュニティのあり方と規模も含めて、検討するという対応の方向で、文面は追記しない方向で考えております。

意見番号29番「地域コミュニティの高齢化や加入者の減少とありますけれども、そういった地域デビューをしたい方のためにマッチングのシステムが必要ではないか」ということでございますが、こちらにつきましては、市民活動で行っています多様な団体が参加できる交流会や、協働カフェなどの話し合い、ホームページ等の情報発信により推進していくという対応の方向で、事業実施の中で検討を進めてまいります。

30番、現状と課題につきまして、成人式等で「個人ボランティアなどに参加を促すような形で、ご案内できないか」ということでございますが、こちらにつきましては、同じように、主要施策の記述については行いませんが、具体的な取組の中で検討させていただきます。

24ページ、意見番号31番ですが、若年層の参加というところというと、本当に仕事等が忙しくてできないということがあるので、「例えば市内の企業だけでも夕方5時に帰宅するような働き方を推進ができないか」というお話でございます。

こちらは、対応にありますように企業へのワーク・ライフ・バランス等の働きかけについて、第3編の6-2の人権・共生・男女共同参画で、ワーク・ライフ・バランスの推進を盛り込んでおりますので、計画の中に趣旨を反映していくような対応の方向で考えております。

意見番号32番、「自治会、損害保険の加入促進とはどういうことか」というご質問でございますが、こちらは地域コミュニティ活動を推進するために、自治会長の活動中における事故に備える損害保険の加入を行っております。ただこの促進という言葉は余分ですので、「自治会員の保険の加入」という文言に変えさせていただきます。

意見番号33、「地域コミュニティと自治会というのは、同じような意味で使われているか」という質問ですが、「地域コミュニティ」は、ほぼ「自治会」を指しておりますが、校区スポーツクラブとか地区の協働隊のような地域の他の団体も含めて、説明文の中では「地域コミュニティ」という表記をしております。主な取組では事業名を挙げておりますので、「自治会」を使っております。

意見番号34番、「②市民活動団体の育成」に、個人も加えて「個人の育成という文言を入れてはどうか」ということでございますが、文言につきましてはそのまま「②市民活動団体の育成」としまして、取組の中で団体の担い手等の個人の育成を含めた内容を考えておりますので、お願いいた

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

部会長	<p>します。</p> <p>続いて意見番号35番です。こちらは、「自治会を小学校単位で構成するように推進してはどうか」というご意見でございます。</p> <p>対応の方向性では、主要施策にある地域自治組織の検討は、小学校区の組織体を含む検討と書かれております。これにつきましても、事業実施の中で検討していきたいと考えております。</p> <p>意見番号36番、「自治会加入率を多角的に図る指標に入れてはどうか」というご意見でございますが、自治会加入率を上げる取組は続けるものの、自治会活動に参加している市民の参加率を指標にしておりますので、すでに計画に盛り込まれていると考えております。</p> <p>意見番号37番、「市民との協働を、今回の計画の中で目指す割には、市民活動に参加する市民の割合の設定目標値が低いのではないか」という、ご意見をいただきました。</p> <p>こちらは、市民意識の醸成には時間がかかり、なかなか難しいという部分でございますが、ご意見ありましたように、今回の計画におきましては市民協働というのをまちづくりの一つの方針としておりますので、自治会活動に参加している市民の割合というのを27年に40%、それから、ボランティア、NPO等、グループで活動しているというのを2027年15%に上方修正しまして、「自治会活動が盛んであると思っている市民の割合」を2027年に40%、それから「北名古屋市ボランティア活動が盛んであると思っている方の割合」を2027年に25%と上方に修正するように考えております。</p> <p>市議会からは2件、ご意見をいただいております。「自治会の在り方を見直してほしい」と「町名変更」について、たとえば鹿田は3000番台の町名がありますので、こういうところの町名と地番を変更できないかというご意見でございます。</p> <p>それにつきましては、新たなコミュニティの在り方を検討していく事業実施の中で検討していくというように答えております。</p> <p>意見番号60番、計画全体についてご意見がありまして、社会全体が閉塞感を感じているので、「楽観的な将来像につながるようなソフト面の取組を進めていただきたい」というご意見をいただいております。</p> <p>以上、6-1コミュニティ・市民活動については、以上でございます。</p> <p>コミュニティと市民活動について12件の説明があったわけですが、何かご意見等ありますでしょうか。</p> <p>なかなか難しい問題、自治会も組織再編の話も入っているということで、検討していくということでご回答になっているわけでございますけれども、よろしいですか。</p> <p>はい。じゃあ、計画に反映するとか、事業で検討していくというところ</p>
-----	--

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

事務局	<p>ろが多いわけですがけれども、しっかりとご検討のほう、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>続きまして、6-2の人権・共生・男女共同参画について、よろしくお願ひします。</p> <p>6-2の人権・共生・男女共同参画では、25ページの38番、1件のご意見をいただいております。</p> <p>こちら、多文化共生の部分でございますが、「多文化共生というと、自国を含めた他の地域で国内の文化も含まれるのではないか」という、ご指摘をいただきまして、これは計画に盛り込ませて、「②多文化共生の推進」の2つ目ですが、今、「国際交流の機会」となっておりますが、「市民の国際交流・地域間交流の機会」に修正します。</p> <p>6-2の人権・共生・男女共同参画については以上でございます。</p>
部会長	<p>多文化共生の文言についてでした。ちょっと僕、疑問に思うのですが、「国際交流・地域間交流」ということですが、国際交流というと国と国との関わりのような感じで、地域間も同じで、結果的に外国のことだけを話しているようにも思えるものですから、ご意見を計画に盛り込もうということ、ちょっとニュアンスが違うかなあというように思います。</p>
G 委員	<p>意見を申し上げた、Gです。</p> <p>まさに部会長がおっしゃるようなことですね。国際交流だけではなくて異文化との交流だったり、地域間との交流ということであれば、国際という切り口ではなくて、それを越えた地域だとか国も含めて、尾張、名古屋、愛知県だとか、いろいろな形での地域間の交流というのがあり得ると思って、「国際交流・地域間交流」では確かに部会長がおっしゃるように意味合いが変わってくるような気がいたしますので、ご検討いただければありがたいと思います。以上です。</p>
部会長	<p>よろしいでしょうか、事務局。</p>
事務局	<p>今のお話としましては、②の黒丸2つ目の市民主体の国際交流に、市民主体の地域間交流というのも入れたいという案ですが。</p>
統括参事	<p>地域間交流というのは、国内のこととはっきりうたうとか、そういうことがいいと思います。いろんな地域間の意味があるので、どういうふうにするかをはっきり伝えないと、意味が違ってきってしまう。</p>

## 第2回北名古屋市長官舎市総合計画審議生活部会 会議録

事務局	<p>検討させていただきます。</p>
G 委員	<p>「国際交流・地域間交流」というと、世界同士だけのイメージでピンと頭に入っちゃうものだから、そういう国内での地域という意味で入れられたとは思いますが、なかなかそこまで読みとれないですよという、そういうことが申し上げたいです。</p> <p>ただ文言だけの問題ですので、また事務局で考えてください。</p>
部会長	<p>ではいいですか。続いて、6-3の広報公聴・情報管理にいきたいと思います。</p>
事務局	<p>6-3 広報公聴・情報管理については、4件のご意見をいただいております。</p> <p>26 ページ、意見番号39番。市内の地図コーナー設置というのがございまして、「白地図、マップとか市民が利活用できるようなマップを入れてはどうか」という意見がございました。こちらの意見に対しましては、市民が地図情報で何を必要としているかということを考えてるとともに、どのような伝達手段が有効かということを考えて、事業実施の中で検討させていただきます。</p> <p>意見番号40番、「市内の施設でWi-Fi など無線インターネットが利用できるようにできないか」ということですが、Wi-Fi の関係につきましては、通常時の管理には検討を要する課題があると考えており、現在は優先順位の高い非常時における避難所での利用ができるような環境の整備を図っておりますので、こちらのほうも事業実施の中で検討するような方向で考えております。</p> <p>27 ページの意見番号41番でございますが、「IoT社会への取組がない」ということでございます。こちらは、回答にありますように、現在のところこの技術は、行政の取組としては実験段階にあると考えておりまして、この技術を取り入れた具体的な取組の実施につきましては、時期尚早と考えております。但し、この技術に対して多くの関心があることを示すために、本文の中に、「IoT社会への進展と、それに伴う課題への対応に努めます」という文言がございました。この記載がありますので、この部分については、すでに計画に盛り込まれていると考えております。</p> <p>意見番号42番、「広報・情報化ともに今後ますます重要となっておりますので、目標値が低いのではないか」というご意見でございますが、この意見は、計画に盛り込まさせていただこうと考えておりまして、広報紙についてわかりやすくするように、市民の3分の2がわかりやすく感じられるよう、目標値を2020年に55%、2027年に65%に上方修正を考えております。</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

<p>部会長</p>	<p>6-3 広報公聴・情報管理については、以上でございます。</p> <p>広報と情報管理についてのご説明がありましたけれども、よろしいでしょうか。</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>G 委員</p>	<p>先ほど目標値の最後のところですが、広報紙の市政情報についての目標数値が上げられたというのはこれで理解できました。</p> <p>ただ、もう一つの指標のホームページについてですが、いろんな市の情報をホームページから得たいという方がますますいらっしゃると考えると、10%、30%という目標値はもうちょっと上げてもいいようなことも考えて。これは広報だけではなくて、ほかの部分も、目標値として上げていいのではないかという趣旨で、意見を言わせていただきました。</p> <p>ですから、広報に関してはこれでよろしいかと思えますけれども、ホームページの指標をもう少し上げるようにしていただけるとありがたいです。以上です。</p>
<p>総務部長</p>	<p>おっしゃるとおりでして、広報紙が見やすくなるということは、行政への関心が深まるということも十分ありますので、それに合わせた形で、ホームページへのアクセス件数、これをもう一度見直してみようと思います。ありがとうございました。</p>
<p>部会長</p>	<p>北名古屋市のホームページのアクセス件数はどれぐらいあるのでしょうか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>こちらにも掲げていただいていますけども、だいたい年間で270万件ということですね。270万ビューということですね。</p>
<p>部会長</p>	<p>結構、あるんですね。</p>
<p>総務部長</p>	<p>多いのか少ないのか詳しく調べていないのでわかりませんが、だんだん増えていることは間違いないです。</p>
<p>部会長</p>	<p>では、ますます充実をしてもらおうということで、よろしく願いいたします。</p> <p>今Wi-Fiをどこでもやれるようにというのは、観光地へ行けば業者が既にやっているという現状があります。なかなか行政との関わりというのは難しいところもあると思いますけど、ぜひ、近々の問題でもあると</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

事務局	<p>思いますので、まずやれるところから進めるということで、お願いしたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。それではよろしいですか。</p> <p>では、次へまいりたいと思います。お願いします。</p> <p>6-4行政経営につきましては、2件ご意見をいただいております。意見番号43番ですが、先ほどもありましたが、住所変更、住所表示の検討ということでご意見をいただいております。これに対しては、先程もお答えしましたとおり、新たな地域コミュニティの在り方の検討や有効な土地利用、基盤整備を進める実施事業の中で検討していきたいと考えております。</p> <p>意見番号44番号、東図書館につきまして、歴史民俗資料館があり、外からの送迎バスで来るお客さんもいるのですが、その方たちに、例えば昭和のお土産屋や駄菓子店をつくってはどうか」というご意見でございます。</p> <p>こちらのほうも、歴史民俗資料館の効果的なPRと活用につきまして、コストやスペースを勘案しながら、また事業実施の中で考えていきたいと考えております。</p> <p>市議会からも2件いただいております。資料②の13ページ、意見番号61番ですが「人口減少により人手不足の問題対策として、宅配ボックス等を各戸に設置する考え方はないか」ということでございますが、民間の企業支援策として、事業実施の中で検討させていただきます。</p> <p>それから、意見番号62番ですが、市役所の窓口がわかりにくいという相談を受けるので、わかりやすくするような改善をお願いしますというご意見でございますが、それにつきましても、6-4の行政経営のなかで市民目線に立ったサービス窓口にしたいと考えておりますので、こちらも事業実施の中で検討していくよう考えております。</p> <p>6-4、行政経営については以上でございます。</p>
部会長	<p>6-4行政経営について、図書館の歴史民族資料館についてのご意見もあつたようですが、よろしいですか。</p> <p>歴史民族資料館はなかなかユニークで、よく新聞にも出たりして、北名古屋市を代表する施設なのかなと思います。本当にびっくりするような企画で、自分も子どものころを思い出して、なかなかいいことかなと思います。</p> <p>では最後、多様な連携ということで、そちらのほうへ行きたいと思っております。お願いします。</p>
事務局	<p>6-5多様な連携の意見でございます。2点いただいております。</p> <p>意見番号45番、大学等の連携につきまして、「名古屋芸術大学だけでは</p>

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

部会長	<p>なく、他の大学なども加えたらどうか」というようなご意見がございました。主な取組では包括協定を結ぶ名古屋芸術大学、愛知医科大学を挙げておりますが、主要施策の中では、多様な連携を想定しており、ほかの大学等とも機会があれば、連携も考えておりますので、計画にご意見の趣旨を反映させていただきます。</p> <p>意見番号46番、大学・企業との連携につきまして、名古屋芸術大学を半官半民の市立大学、北名古屋の市立大学にしてはどうかというご意見でございます。</p> <p>こちらにつきましては、今回、総合計画の中では非常に急な話なので、時期尚早ではないかという対応の方向でお答えさせていただきました。これについては、市と大学で意向を調整したうえでメリット・デメリットについて検討していきたいと考えております。</p> <p>あと市議会からは、多様な連携としまして3点ほどご意見をいただいております。資料②13ページ、意見番号63番ですが、合併協議につきましては、もともと西春日井郡7町の合併の検討から始まっていますので、「合併ということについて、自治体の規模というものを検討するということを現状と課題の中に入れてはどうか」というご意見でございます。</p> <p>これについては、文案の変更を考えており、主要な取組の3つ目「名古屋市との合併」と書いてあるのですが、この部分を「名古屋大都市圏を意識した名古屋市との合併」という文言で検討しております。</p> <p>次に意見番号64番でございます。合併にこだわると、総合計画が、市独自でやるものと合併を想定したものと2つの考え方ができてしまうのではないかというご意見があり、またリニアインパクトについても、わからない部分があるので、その部分については、非常によく検討してほしいというご意見ございました。</p> <p>総合計画は、この地域について考えるものであり、リニアインパクトにつきましては、皆様にお配りしたとおり、有識者の考えを入れたりしながら計画の中で考えていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。</p> <p>最終14ページでございます。</p> <p>意見番号65番。意見としましては、連携を今回考えるのは今後10年の中で非常に重要なことになっていくので、そういった部分について、しっかり市民の意見を聞いていただきたいというご意見でございます。これについては、そのとおりでございますので、計画の中に趣旨を反映させたいと考えております。</p> <p>6-5の多様な連携については、以上でございます。</p> <p>多様な連携というところのご説明がございましたけれども、ご意見を賜ります。</p>
-----	--

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

H 委員

この46番意見に書いたままですが、実のところ、直接この意見とは関係ないですが、名古屋芸術大学はこのところ学生集めに苦戦しています。

今全国で、私立大学が市立化した大学というところで失敗している例はまず無いです、僕のほうで調べたところ。それから、半官半民というのは、それが一番、現実的だからということです。

逆にいうと市として市立大学を持つというのは、若者の定着・定住に向けてすごく大きいことだと思うので、市が発展していくと思います。今から新たな大学をつくるというのは、非常に困難だと思っているので、今ある名古屋芸術大学を利用したらどうかというのが、最初の思いです。

現実的に名古屋芸術大学は、今学生を集めるのに四苦八苦しているという現実もあります。それでなおかつ、文部科学省の方針で、2030年に「各県において私立の芸術系の大学は一つでいい」という方針が出されております。

ということは、今のままほっておくと、名古屋芸術大学か、名古屋造形大学とか、名古屋音楽大学とかいろいろありますけれども、そういう中で、一つは援助するけれども、あとは援助しないというパターンだと思うのですね。だから、いろんな芸術大学が生き残るためにいろいろ考えているわけです。

そう思っていたら、スッパ抜きの記事で資料Bができました。名古屋造形大学は今、場所が不便なところにあるのですが、今度、大学を名城公園東の大学が集まる地区に移転をするということです。新聞にここまで出たのだから、たぶんまず間違いなく移転をしてしまうだろう。これも2030年対策の一つだと思っています。

そういうような困難な状況が大学側にもありますが、北名古屋市は聞くところによると、過疎化しているわけでもないから、人口減少対策はそんなに必要ないというような意見も聞きましたけれども。しかし、若者がたくさん定住し、そこで家庭を持ち、仕事を持つということは、やはり市の発展にはすごく大きなことだろうというふうに思うわけです。

僕の書いた文章の中にありますけれども、金沢の芸術大学では住民票を金沢市に移すとより月謝を安くするという方針をとっております。つまり、最初から金沢市の若者がよそへ行かないということです。それから、よそから金沢に来た学生が住民票を金沢に移すということです。だから、それでもって金沢市と連携をとって、若者の人口を増やし、定着化を進めていくという方法をとっていくわけです。

もちろん、僕自身も実現して成功させるには困難で時間もかかるだろうし、難しい事柄もたくさんあるとは思いますが、いろいろな

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

総務部長	<p>資料を集めてもらえば、より一層よくわかると思うのです。</p> <p>市も、もちろん大学も月謝が安くなり、なおかつ市立大学となりますとブランド化されますから、就職率も良くなるからいいように全部転換していくわけです。だから、ウィン・ウィン&amp;ウィン。「&amp;ウィン」は学生。みんながウィンになる関係が出来上がるのではないかと思って、困難なこととは思いつつ、あえて提案させていただきました。</p> <p>それでまず、とりあえず「そんなの絶対駄目」という意見がない限り、プロジェクトチームというか検討委員会というか、それをつくることから始めてもらいたいというのが希望です。</p> <p>もちろん、なるべく早く実現できるというか、実現しようと思うならば、それはなるべく早いほうがいいと当然思います。</p> <p>もちろん市のほうで、そういう検討委員会、あるいはプロジェクトチーム、名前はなんでもいいのですが、そういうものを立ち上げようかという空気が生まれるならば、僕は自分が勤めている名古屋芸術大学の理事長、学長はじめ個人的にも話せる間柄でありますから、名古屋芸術大学のほうでも検討委員会、あるいは合同の委員会というものをつくりあげていくように橋渡しをしていこうと思います。</p> <p>とりあえずまず、北名古屋市でそんなもの全然やる気ないよと言われてたら、僕が名古屋芸術大学に持っていったって仕方ないじゃないですか。だから、とりあえずまずどうなのか。</p> <p>だから、逆に言うと時期尚早と言われてちゃうと、何が時期尚早なのか分からない。だから、時期尚早という言葉はつまり「つくらない。そんなものは検討もしない」ということなのかどうかをまず知りたいし、僕の希望はプロジェクトチーム、検討委員会でも何でもいいです。そういうものをつくってもらいたい。そういう意見です。</p> <p>はい。ご提案をいただきましたこの中身は大変、よく理解できました。また、非常に面白い提案だなあと考えております。</p> <p>時期尚早というところについてですけれども、この表現はどうかということはおわかりませんが、やはり我々北名古屋市として受け止めるには、唐突であることは事実です。</p> <p>このあと、名古屋芸術大学さんとかこういったお話ができるようになれば、そのことを市民の方たちにも、こういうことを議論しますよということをお話したうえで、総合計画の中に間に合えば書けるかもしれませんが。今の段階ですと、書いてあるように名古屋芸大さんといろいろな形で連携していくということまでしか、今の時点では書ききれないというのが、現状の担当としての書いた者の気持ちと理解いただければと思います。</p>
------	--

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

H 委員	<p>僕もこの間に、自分の周りの教員たち5人ほどにこの話をしたのですが、みんなそれこそ唐突に思うけれども大賛成。それはすごい。実は理事長にお話ししようと思っていて連絡をとったのですが、理事長が今、ちょうど忙しい時で、うまく会えなかったんですね。</p> <p>会えないうちに考えてみたら、先にこの話をこの会で出して、市のほうの反応を見ることのほうがやはり先じゃないかなと。まず、この意見を出したのは、僕は名古屋芸術大学の教員として出したのではなくて、やはり委員の一人として出しているのです、とりあえずまずこれは意見として出して反応が見たいと。</p> <p>それから、今言ったみたいなことをおっしゃるならば、たとえば僕が名古屋芸術大学との橋渡しをするには、いいポジションにいると自分で思っていますから、名古屋芸術大学のほうで理事長、今の学長も含めてそういう話を持って行って、そして橋渡しをしながらプロジェクトチーム、あるいは検討委員会みたいなものを立ち上げていくというところまで、早い段階で話ができたら、動きようがあるなというふうに思っております。</p>
総務部長	<p>理事長さんのほうにお話を仮にされて、理事長さんのほうから市の側に、こんな話が出たらいいなというような、そんなお話ができれば、少し進むかもしれないという気はしております。</p>
H 委員	<p>そうですか。</p>
統括参事	<p>はい。ただ、あまりにも唐突なものですから、申し訳ありませんが、こういう話もあるかなあということなのですが。今後、日本全国の中でやはりこういう私立大学の問題は出てくると思います。これで生き残りをかけて、それぞれの大学がいろんな考えで進めてこられるということもございますので、果たして市が参加させていただいて、市立の大学が、今後30年、50年続けられるのかどうか。そういうことも含めて、やるとすれば、そういうところから始めなければいけないと思います。</p> <p>それをこういうところに挙げるというのは、ちょっと迷ったということで、こういう書き方にしてあるというところです。</p>
H 委員	<p>だから、今、おっしゃったことを含めて、委員会をつくりたい、つくってもらいたいというふうに僕は思います。</p> <p>逆に言うと名古屋芸術大学は、人間発達という教育系学部を持っていますけど、やはり芸術大学なんです。だから、逆に半官半民の市立大学的なものをつくれたとしたら、たとえば経済学部とか、そういうものを新しく学部としてつくっていても面白いと思います。</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

<p>統括参事</p>	<p>そうなれば、たとえば名古屋芸術大学という名前はおかしくないのかという話はあるかもしれないけど、たとえば、日本福祉大学なんかにも経済学部はもう10年か20年前につくりましたよね。</p> <p>でも、そのうちうまく話が進めば、唐突どころか大ヒットになる可能性がある話なので、やはりやってみるだけの価値はあると思います。どうしても駄目なら駄目でしょうがないと、僕は思いますよ、もちろん。でも、バット振らなきゃボールに当たらないですから。</p> <p>今のご意見をいただいて、名古屋市の合併と同じぐらい大きな話じゃないかなという部分もございます。</p> <p>ただ、本当に名古屋芸術大学さんの理事長さんのお考えとか、そういう部分が一番大きいのではないかなと思います。そういう部分から入って、どうなるかなという部分です。</p> <p>私どものほうの市長にも、まだこういう話は全然してありませんし、当然、議会のほうにもお話をしなければいけません。そういう部分も含めて難しい部分はあると思いますので、皆さん方からご意見をこの場でいただいて進めるというのもどうかと思っています。</p>
<p>H 委員</p>	<p>もし、唐突だが面白そうかどうか、成功したらすごいねという意見がいただけるならば、まずとりあえず個人的に僕はこういう会議でもってこういうものを出してみたという報告を理事長に個人的にちゃんと説明して、反応を見てみます。</p> <p>もちろん僕もそういうことを考えているから、半官半民と言っているわけですけどね。市立大学なんて言ったら理事長は、「俺はどうなるのだ」と当然、思うでしょう。だから、その辺は結構丁寧に、案外詳細にこの文章をつくっているんですけど。</p> <p>基本的には、まあ話してみなきゃわからないし、話し方もあるでしょうけれども、案外面白がるのではないかとは思いますが。本当に今、このままだと、名芸辛いです。僕はあと3年で、定年になってしまいますから自分の利害は全く言っていないです。北名古屋市の恒常的な発展と名芸も頑張ってもらいたいと、ただそれだけのこと。それは学生にとってはもちろんいいだろうという話です。</p>
<p>F 委員</p>	<p>本当に一市民として感想という感じですけど、これを初めて読んで、10年、20年後に芸大がなくなるというようなことは一度も考えたことはないです。</p>
<p>H 委員</p>	<p>それは個人で大きい声で言えないですけどね。</p>

## 第2回北名古屋市総合計画審議生活部会 会議録

F 委員	<p>私は市民として学食を食べにいたりとか、図書館を利用したりさせていただいて、学祭も行きますし、まちのシンボルみたいになっていて残ってほしいという単純な感想もありますが。残るための方法として、こういう方法をとるのだとことを言われれば、そうなのだというふうで、市民の理解もわりといいかなという気がします。</p> <p>あと上のほうに書いてある、定住してくれる若者にとって魅力的なまちになっていくのだということですけど。金沢の事例かどうかわからないですけど、若者は、いろんな地域から来ていて、住んで、仕事があれば、若者は住むというのはわかる。そして、学生の親なども北名古屋市に住んでもらう想定ですか。</p>
H 委員	<p>それは本当に市の大きな発展と関わりある事柄ですよ。でも、金沢もそこまでやっているかどうかというのは、まだ、金沢も始めたばかりなので、そこまで進んでいるかどうかは掴んではいないですけど。</p> <p>ただ、子どもがたとえば大学生で北名古屋市に来て、地方から来て、ここで就職して家庭を持ってということにしたら、地方の親が年とってきたら来る可能性はありますよね。一緒に住もうという可能性はありますよね。普通に考えて。</p>
F 委員	<p>それはやはり受け入れる体制、市としてもそうした施設に力も入れなくてはいけなくなっていくと思います。</p>
H 委員	<p>そうですね。ただ、それはもちろん大変な事柄ではあるけれども、市としては発展していくという方向ですよ。</p>
部会長	<p>せっかくのご意見ですけども、やはりこの場でちょっと荷が重すぎます。</p>
H 委員	<p>それはそうですよね。</p>
部会長	<p>これはね、ちょっと種類が違う話ですので、ある程度、まとまってきたらとかにしないと、ここで決めたらどうだという問題では全くないと思います。</p>
H 委員	<p>そうですね。だから、ここで決めるのではなくて、将来構想的な意見を出せということがあって、分野を越えてもいいというので僕はこれを出しました。今、望んでいるのは、このプロジェクトチームとか、委員会とか名前はなんでもいいけれども、そういうものを立ち上げていくような方向で考えてもいいだろうかということを知っているわけです。</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

A 委員	<p>だから、理事長の意見がという、意見が出てきたから、僕は近いうちに理事長との時間を合わせて理事長にお話しして、理事長が「そんな絶対駄目」と言わない限り、中に橋渡しをしながらやっていこうと。だから、今まずそういう意見を聞いたかったです。</p> <p>それはわかるのですけれども、この場でではなく、市と直接やっていただく方がいいのではないのでしょうか。</p>
部会長	<p>これは非常に唐突な話でもありますね。僕の感想ですと、たとえば大学の延命だけということになれば、これは半官半民にすればいいことですので、3年もあればかたがつくだろうと、だいたい僕は思います。</p> <p>まずこれから学生の応募状況とか、いろいろなことを見ると、まだ2030年までは十何年もあるわけですので、時間的に余裕はあるだろうと思います。</p> <p>あとH委員が言われるように、学生が減っていくのは北名古屋市としてはまずいだろうと、自分としては思いますね。やはり若者が来ていれば活気、活力はあると思いますので、そうした面で北名古屋市自体が魅力のあるまちになれば、また学生も集まってくるでしょうし、ということです。</p> <p>今日はどなたか女性の委員さんが言ってみえましたが、大きな北名古屋市の魅力発信といいますか、そういうまちづくりにしていければ本当にいいなあという想いはあります。</p> <p>だから、あとはすぐトップの市長さんにお話する必要も僕はないと思いますので、統括参事さんたちや総務部長さんたちと、理事長さんたちと少し関わりながら、このお話を少し煮詰めていただいて、また何かの機会にお話を聞かせていただければと。</p>
総括参事	<p>今、皆様方の総括的なお話から、感じるころなのですが、やはり名古屋市長との合併、これもこういう場で議論することではないと思います。皆さん方にご意見を聞いて、じゃあ名古屋市との合併賛成とか反対とか、そういう部分でもないものですから、それと同じようにこういう問題についても、議論するには、やはりまずこの場で言うべきかどうかわかりませんが、内々で、やはり進めていくというほうがいいのではないかなということを私は考えています。</p> <p>名古屋市との合併につきましても、メリット・デメリットがあります。これも名芸さんと北名古屋市のメリット・デメリット、それぞれ出てくると思います。そういう部分というのはいきなり公表してしまいますと、それぞれハチの巣をつつくような議論になってしまいます。いいか悪いかじゃなくて、それぞれの思いのぶつけ合いになってしまいますの</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

	<p>で。</p> <p>それぞれが、やはりウィン・ウィンになればいいし、ちょっとまずいとなれば、やはり身を引くという部分もあり、非常にデリケートな部分がありますので、あまりにもやはり表へ出してしまいますとどうかという気もします。もうちょっとA委員おっしゃられたような形で内々で進めていただくほうがいいと思います。</p>
H委員	<p>とてもよくわかります。そのとおりだと思います。内々で進めていくということでもいいですが、そちらの窓口に僕が連絡するとき、この件に関してはどなたが。</p>
総括参事	<p>言っていただければ、私が窓口になります。</p>
H委員	<p>わかりました。</p>
部会長	<p>では、そのほか、ありますか。</p>
D委員	<p>先ほどのお話聞いていて、基本計画の中にも芸大さんが、結構入っているのではないかと私は受け止めています。だから、北名古屋市って大学のあるまちだよという、それもあったと思います。市のアピールというのかな。</p> <p>そういう中で、今、お話を伺って、この北名古屋市で名芸さんの存在は大きいと受け止めておりますので、それだけはお伝えしておきたいと思います。本当にいろんな方にいろんな老年学習、生涯学習、そこら辺も関わってくるじゃないですか。またいろんなところで関わっていただいておりますので、そこは本当に改めてお話を伺ったほうがいいと思いました。</p>
H委員	<p>どうもありがとうございました。</p>
B委員	<p>名芸さんの下宿の方とかが、たくさんみえると思うのですが、よく声楽やっている人なんか部屋を貸すというのは大家さんが非常に嫌がるというか、なんか変な声を出すからDVと間違われるとかいうことで、なかなか借りるのが困難という話を聞くので、何かそういう防音の部屋のある下宿みたいな、そんな補助とか何かで、たくさん学生さんに来てもらって、レッスン室はたくさん持ってみえると思うのですが、やはりちょっと家で練習したいというときにしやすいような、そういう形のなにかというは、どうでしょうか。</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

H 委員	<p>そうですね。あることはあるのですが、名芸の音楽学部の学生がピアノを弾くのを練習できるような、防音の学生向け賃貸マンションとか、僕個人もよく知っていますけど。あることはあるけど、間に合っているかどうかはちょっとわからないですね。確かに声楽の練習なんて悲鳴みたいな声をあげますからね。</p>
部会長	<p>防音の効いた建物なんてコストがかかるでしょうから、大家さんも大変と思います。</p> <p>これで打ち切りたいと思いますけれども。あと私どもからの質問についてのことで、何かよろしいでしょうか。</p> <p>議会のほうは、説明してもらおうということでお願いをして、私どものほうで、一応一通りやりましたけど、やはりまだ心残りだというのがあればお尋ねしたいと思いますけれども、よろしいですか。</p>
C 委員	<p>今日の配布資料の2枚目のところの、7の総合計画序論や基本計画総論における女性の活躍に関するワードというので、これは必ず載せていただけるのでしょうか。第1回総合計画審議会における質疑意見と回答で、全員で協議したときに出了た回答と思います。</p>
事務局	<p>第3章の分野別まちづくり方針の(6)協働・行財政分野の「協働と連携のまちづくり」に趣旨を含め追記します。文案はまだ決定しておりません。</p>
C 委員	<p>そうですね。これは子育てから、少子高齢化、働き方も全部つながってくるものですので、ぜひ入れていただきたいです。よろしく願いします。</p>
部会長	<p>では一応これで、今日の資料①②の検討を終わります。</p> <p>また、今日は一応、済んだわけですが、まだまだ腑に落ちないことがあれば、また事務方のほうにご質問等をしていただくという形になるかと思しますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これで会議を閉じたいと思います。事務局のほうで連絡等ありますでしょうか。</p>
事務局	<p>ご審議、ありがとうございます。2点お願いさせていただきます。</p> <p>1 点目「会議録の確認について」</p> <p>本日、お手元に配布させていただきました「会議録の確認について」依頼文をご覧ください。</p> <p>第1回生活部会の会議録を、クリップ留めで添付しておりますので、</p>

## 第2回北名古屋市長総合計画審議生活部会 会議録

部会長	<p>内容をご確認いただきまして、修正すべき点がございましたら、6月16日（金）までに、事務局へ連絡をお願いします。</p> <p>修正点等を調整した会議録を丹羽部会長に確認していただいた後、市ホームページにて公表いたします。</p> <p>なお、公表にあたっては、委員名を伏せて公表させていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>2点目「生活部会の第3回会議の開催日程について」</p> <p>本日、お手元に配布させていただきましたが、次回、第3回生活部会の会議を、7月6日（木）午後1時30分から開催させていただきます。会議の時間は2時間程度とし、午後3時30分を終了予定としております。</p> <p>場所は、本日とは別の会場、この西庁舎4階の403会議室となりますので、よろしくお願いします。</p> <p>以上でございます。</p> <p>会議録は、今日全体の審議会の方の会議録もございましたし、またこの部会の会議録の方もございました。部会の方の会議録について、お読みいただき、修正すべきところがあれば6月16日までにまた事務局までご報告ください。お願いをいたします。</p> <p>次回の会議が、7月6日午後1時半から西庁舎4階の403であるということでございます。お間違えのないように、ご出席のほう、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>では、以上で終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>では、今日は第2回の生活部会、どうもご苦労さまでございました。ありがとうございました。</p>
-----	---